



## 被害者支援の更なる充実に向けて

長崎県警察本部警務部長 大窪 雅彦

昨年8月20日付けで、長崎県警警務部長に就任しました大窪です。よろしくお願い申し上げます。

さて、被害者支援をめぐる環境は、平成17年の「犯罪被害者等基本計画」の策定などにより、司法制度や給付制度の改正が進むなど、様々な分野で支援の充実に向けた取り組みが進められております。

こうした中、NPO法人長崎被害者支援センターにおかれては、凶悪犯罪などの被害者やその家族の方からの相談に対する親身な対応や、カウンセリングによる適切なアドバイスなどにより、被害者が抱く不安を和らげるとともに、被害からの立ち直りを支援する活動に取り組み、大きな成果を挙げられています。

また、平成20年度から取り組まれている「命の大切さを培う」学校講演事業は、社会の将来を担う中高生が犯罪被害の問題に向き合う有意義な場となっており、その実施回数も年々増加するなど、被害者も加害者も出さない安全な社会づくりに大いに貢献しています。

これもひとえに、皆様のご支援があつてこそと感謝申し上げる次第です。

本年4月からは、「第二次犯罪被害者等基本計画」が実施されます。

被害者支援は新たな段階に入ることとなり、長崎被害者支援センターに対する県民の期待も、これまで以上に高まるものと予想されます。

したがいまして、県警といたしましても、長崎被害者支援センターに対する物心両面にわたる支援を一層強化し、連携を強めることにより、被害者やその遺族の方々が、一日でも早く、平穏な生活を営むことができるよう努力してまいりますので、皆様におかれましても、引き続いてのご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

専用  
電話  
相談

これくらいの被害と一人ではがまんしていませんか。  
傷害事件・性被害・交通事故等による不安や悩みをお聞かせ下さい。



**(095)-820-4977**

毎週月曜日～金曜日・第2土曜日

10:00～16:00 (年未年始、祝祭日除く)

秘密  
厳守  
相談  
無料

面接相談 電話相談のうえ予約が必要。弁護士・臨床心理士の専門相談も行います。

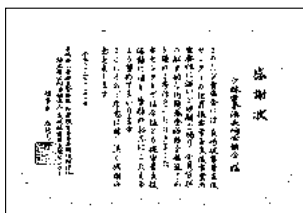
直接支援 希望に応じて、警察・裁判所・病院・関係機関等への付き添い等も行います。

# 平成22年下半年期活動報告

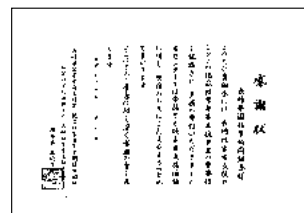
## 募金活動及び高額寄付等のご支援ご協力をいただいた団体へ感謝状を贈呈

募金活動：少林寺拳法長崎市協会 様

寄 付：長崎県遊技業協同組合 様



浜町アーケードにて総勢60名参加（平成22年11月28日）



社会還元寄付金贈呈式に出席（平成23年1月28日）

## 日韓犯罪被害者支援センター協定書調印式



釜山市役所国際会議場（平成22年11月29日）

平成21年11月 釜山国際市場内 射撃場において発生した火災事故の支援を契機に釜山犯罪被害者支援センター（通称「ヘサル」）と次のような交流協約を締結した。

- 1 両センターの親善交流及び犯罪被害者支援のための活動
- 2 セミナー、情報交流及び刊行物の交換
- 3 その他交流の活性化に関する事項
- 4 提供を受けた情報については、必要な守秘義務を厳守する。

両国への観光客の往来も増加しており、特に観光県長崎のセンターとしては、必要不可欠な協約との考えから調印することとした。

## 中学高校生を対象とした巡回講演事業（H22.8.1～H23.2月末現在）

高 校	中 学	合 計	聴講者数
11校	20校	31校	9,898人

講 師	被 害 者	臨床心理士	そ の 他
	22回	7回	2回

## 広報活動

H23年7月17日～19日	K T N海フェスタ会場内広報活動（長崎市）
9月15日	長崎県警察音楽隊プロムナードコンサート会場で広報活動（長崎市）
10月12日	地域安全・暴力追放運動「安全・安心まちづくり」長崎県大会で広報活動（長崎市）
10月28日～29日	九州精神神経学会・九州精神保健学会会場で広報活動（佐世保市）
11月7日～8日	第71回九州心理学会会場でセンター活動報告（長崎市）
11月7日～12月5日	させほ市民協働交流月間2010でセンター紹介とパネル展示（佐世保市）
11月17日	犯罪被害者週間キャンペーン・県警音楽隊演奏（長崎市）
11月28日	犯罪被害者週間：街頭募金活動（少林寺拳法長崎市協会共催・長崎市）
12月1日	『犯罪被害者週間』国民のつどい中央大会会場でポスター展示
12月4日	第11回ながさき人権フェスティバル参加（佐世保市）
H23年1月14日	長崎県警察年頭視閲式でパネル展示とリーフレット配付（長崎市）
1月22日	長崎県警察音楽隊定期演奏会でパネル展示と広報グッズ配付（長崎市）



## 講座・研修等

7月30日	犯罪被害者支援研修会（県弁護士会）
8月28日～29日	九州沖縄ブロック研修会（全国被害者支援ネットワーク・鹿児島県）
10月1日～3日	全国犯罪被害者支援フォーラム2010及び秋期全国研修会参加（東京都）
5月～11月	現役相談員継続研修会 5回
12月18日	支援ボランティア養成講座修了式 9期生（全15回）
12月18日	県民ボランティア振興奨励賞表彰式出席（(財)県民ボランティア振興基金）

# 支援センターの運営を支えてくださる皆様 ～こころより感謝申し上げます～

## 会 員 ・ 寄 付 者 一 覧 表 (平成22年9月～平成23年2月末受付分)

(芳名掲載をご了承いただいた方、団体のみを掲載いたしました。順不同、敬称略)

### <正会員>

(医)伴師会  
愛野記念病院  
岩永 眞智子  
太田 保之  
大塚 俊弘  
大西 由紀子  
川添 志  
清野 直之  
塩飽 志郎  
瀬戸口智彦  
中野 明人  
永田 吉朗  
本田 龍一  
山口 佳英  
山本 泰子  
河井 耕治

### <個人賛助会員>

宮村 庸剛  
山川倭佐雄  
相川 光正  
新 辰也  
今道 友子  
後田 陽子  
大坪 義昌  
大寶 勝征  
小野由利子  
鍵原 行雄  
菊池 文喬  
栗原 重忠  
佐藤 久子  
柴田 國義  
鈴木 弘之  
谷口 栄子  
谷川 藤登  
鶴田 義一  
友廣 良満  
中川 公二  
西村 康治  
濱田 博之  
深山 和子  
増永恵以子  
益田 耕作  
三浦 晋  
森 誠司  
山下 浩一  
横田 実  
尾下 進

### <団体賛助会員>

(株)有明商事  
黒瀬建設(株)  
(株)山 水  
(株)親和テクノ  
(株)荒戸産業 ひばり愛野店  
NPO法人障がい者後見・  
支援センター「あんしん家族」  
岩崎修一税理士事務所  
諫早商工会議所  
浦上地区金融機関防犯協会  
雲仙市交通安全協会  
浦上地区職域生活安全協議会  
大浦地区金融機関防犯協会  
大浦地区交通安全協会  
(医)医理会 柿添病院  
川棚地区警察官友の会  
九州液化瓦斯福島基地(株)  
五島市警察官友の会  
(社)五島市交通安全協会  
西部ガス(株)佐世保支店  
佐世保卸団地協同組合  
西海地区警察官友の会  
佐世保青果(株)  
佐世保市タクシー協会  
(株)親和銀行 総合管理部  
島原市交通安全協会  
第三セクター職業訓練法人  
長崎能力開発センター  
長菱制御システム(株)  
長菱船舶工事(株)  
長菱設計(株)  
長菱ソフトウェア(株)  
東興産業(株)  
東海産業(株)  
(社福)南高愛隣会  
長崎県医師会  
長崎魚市(株)  
長崎県行政書士会五島支部  
(社)長崎県警友会連合会  
(財)長崎県交通安全協会  
(社)長崎県歯科医師会  
長崎船舶装備(株)  
長崎ダイヤモンドスタッフ(株)  
長崎電気軌道(株)  
長崎文化放送(株)  
長崎ヤクルト(株)  
長崎市遊技場組合  
(医)光善会 長崎百合野病院  
西日本菱重興産(株)  
(医社)康仁会 林医院

浜市商店連合会  
ホテルニュー長崎  
(株)丸政水産  
松浦地区警察官友の会  
南島原市交通安全協会  
南島原市防犯協会  
メモリードグループ総合本部  
(株)ヤクシンP G  
(有)リサーチ長崎  
常在寺住職 合川天心  
川棚地区金融機関防犯協会

### <寄付者>

池田 光利  
池田 俊男  
池田美早代  
浦川 一孝  
諫早西口ロータリークラブ  
井上産科婦人科 井上 哲朗  
小川 正幸  
Two Bee  
川瀬 和代  
(株)橋高 代表取締役 橋高 克和  
菊池 文喬  
小林 靖明  
西部ガス(株)長崎支社  
(有)佐世保警備 松浦営業所  
佐世保地区防犯協会  
島原青果卸販売(株)  
鈴木 弘之  
セキスイハイム九州(株)長崎支店  
対馬北警察署  
(社)長崎県建設業協会佐世保支部  
長崎県遊技業協同組合  
長崎ロータリークラブ  
(株)にしけい長崎支社 支社長 佐藤 國興  
日本紙器(株)  
(株)平和町駐車場 代表取締役 末吉 正人  
本多 朗  
三好 徳明事務所  
宮田 雄吾  
(株)森開発 代表取締役 森 強  
森 誠司  
行政書士 安永 弘幸  
山田 勝也  
(医)星和会 矢上外科胃腸科  
長崎北ロータリークラブ  
松尾 整子  
仁位 剛  
吉川

※その他掲載を希望されない方24名

# 設置にご協力いただいております事業所及び関係機関の皆様へ、心より感謝申し上げます。

## 自動販売機及び募金箱の設置協力者及び設置場所名一覧 (平成23年2月末現在)

地区	協力者及び設置場所名	地区	協力者及び設置場所名	地区	設置場所名	地区	設置場所名
長崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎九州電力(株)長崎支店</li> <li>◎(株)カワハラ住宅産業</li> <li>◎(株)親和銀行東長崎支店</li> <li>◎(有)平和スポーツ店 雑貨探偵団</li> <li>長崎バスターミナル1階待合室 (長崎バス商事(株))</li> <li>浦上自動車学校内(株)GOO</li> <li>親和銀行長崎営業部</li> <li>昭和タクシー(有)</li> <li>あたご自動車学校</li> <li>(有)安全タクシー</li> <li>みらい長崎ココウォーク3階 (長崎自動車(株))</li> <li>長崎市香焼総合運動公園</li> <li>(株)吉本ハイテック長崎管業 設計事務所屋外</li> <li>錦建設工業(株)</li> <li>琴海商工会</li> <li>◎アイビー薬局</li> <li>◎(有)伸和不動産</li> <li>◎ファミリーマート扇町店</li> <li>(株)チトセピア1階総合案内所</li> <li>ゆうき寿司</li> <li>長崎振興局建設部庁舎ロビー</li> <li>長崎振興局保健部庁舎ロビー</li> <li>長崎県警察本部犯罪被害者支援室</li> <li>長崎県県民生活部県民安全課</li> <li>長崎振興局長崎港湾漁港事務所</li> <li>長崎県県民生活部人権・同和对策課</li> <li>県民生活部男女参画県民協働課</li> </ul>	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎西肥自動車学校</li> <li>◎(株)親和銀行FFGビル</li> <li>◎東海化成工業(株)</li> <li>◎(株)松葉屋</li> <li>九州文化学園 長崎短期大学校</li> <li>田羽多隆義(針尾郵便局横)</li> <li>吉田海運(株)</li> <li>福吉恒夫(早岐自動車協会横)</li> <li>アウトレットショップ「ラビット」</li> <li>(株)モア 店舗1階駐車場</li> <li>(株)富士国際ホテル</li> <li>親和銀行本店</li> <li>(株)県北衛生社白岳事務所(ネック)</li> <li>親和銀行浜田町支店</li> <li>下田商事(株)</li> <li>佐世保卸地協同組合1階ロビー</li> <li>佐世保市役所</li> <li>県北振興局(1階、2階)</li> <li>県北振興局県北家畜保健衛生所</li> <li>佐世保市鹿町地区生涯学習センター</li> <li>佐世保市役所江迎行政センター</li> <li>佐世保市役所鹿町行政センター</li> </ul>	島原半島	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎(有)オートサービスふじい</li> <li>◎本田建設(株)</li> <li>◎小浜食糧(株)</li> <li>島原鉄道(島原駅1番ホーム)</li> <li>医療法人 博愛会 哲翁病院</li> <li>島原雲仙農業協同組合愛野支店</li> <li>西部農機具センター</li> <li>島原雲仙農業協同組合愛野支店</li> <li>あいの小町選果場</li> <li>(株)みずなし本陣ふかえ</li> <li>(株)有馬 2台(南島原市)</li> <li>口之津食品(リノ電子長崎工場内)</li> <li>島原警察署</li> <li>島原市役所</li> <li>島原市医師会</li> <li>島原市社会福祉協議会</li> <li>長崎県島原振興局</li> <li>島原市社会福祉協議会有明支所</li> <li>南島原市役所</li> </ul>	平戸市、松浦市	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎(株)Jパワーグループ 松浦火力発電所</li> <li>◎松浦市星鹿公民館</li> <li>松浦市民運動公園</li> <li>(社)松浦魚市場協会</li> <li>県北振興局保健部</li> <li>県北振興局田平土木事務所</li> <li>松浦警察署</li> <li>江迎警察署</li> <li>ヤマザキショップウイン(松浦市)</li> <li>松浦市役所鷹島支所</li> <li>松浦市役所福島支所</li> <li>松浦市役所1F</li> <li>道の駅「鷹ら島」(松浦市)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎(株)和山(波佐見町)</li> <li>白山陶器(株)(波佐見町)</li> <li>(株)日興防錆鋼業(波佐見町)</li> <li>(株)テクノ(波佐見町)</li> <li>佐々町役場1階、2階</li> <li>東彼杵町役場ロビー</li> <li>波佐見町役場</li> <li>会計課カウンター</li> <li>川棚町庁舎カウンター</li> </ul>		波佐見、川棚、東彼杵、佐々		五島地区		<ul style="list-style-type: none"> <li>カーピカランド福江(五島市)</li> <li>長崎県五島中央病院(五島市)</li> <li>新上五島町役場庁舎ロビー</li> <li>長崎県五島振興局</li> <li>(有)丸宝惣菜(五島市)</li> <li>五島警察署</li> <li>新上五島警察署</li> <li>五島市</li> <li>(本庁、支所(富江、玉之浦、三井楽、岐宿、奈留))</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎(株)思想念(諫早市)</li> <li>(株)中島建設(諫早市)</li> <li>(株)琴花園(大村市)</li> <li>タイヤショップサンスパ(大村市)</li> <li>諫早市役所市民課窓口</li> <li>諫早市立諫早図書館</li> </ul>	吉岐・対馬	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎吉岐消防署勝本出張所</li> <li>◎吉岐消防署郷ノ浦支署</li> <li>対馬天和産業(株)</li> <li>(豊玉生コン工場敷地内)</li> <li>長崎県吉岐振興局(2ヶ所)</li> <li>吉岐市役所(4ヶ所)</li> </ul>					

(注) 66台設置済み 63個設置済み ◎印は新規設置場所  
自動販売機設置場所 募金箱設置場所

※社会貢献の一環として自販機の設置場所提供にご協力いただける企業・団体・個人等を募集しております。  
(自動販売機の売上げの一部が支援センターへ寄付されます。)

## 賛助会員入会等のご案内

長崎被害者支援センターの活動を支えてくださる賛助会員を募集しています。  
私たちの活動は、賛助会員の会費や寄付金で成り立っています。ご賛同いただける新規会員の入会またはご寄付をお待ちしています。  
賛助会員・寄付者の方には、年2回会報誌を送付いたします。

賛助会員について(年額)		寄付について	郵便振込	
個人賛助会員	1□ 3,000円/年	金額の多少にかかわらず、 随時受け付けております。	口座 番号	01730-8-102986
団体賛助会員	1□ 10,000円/年		加入 者名	
※1□以上、何□でも結構です。				

会報へのご芳名掲載を希望されない方は、通信欄にその旨記載をお願いします。専用振込用紙ご利用の方は申し込んで下さい。

# 小野田寛郎特別講演会

平成22年9月11日  
講師：小野田 寛郎

## 人は一人では生きられない

～子供たちの逞しい成長を願って～

### <講師略歴>

1922.3 ……和歌山県に生まれる  
1944.9 ……陸軍中野学校入校  
1944.12 ……フィリピンルバング島派遣  
1974.3 ……日本へ帰還  
1975.4 ……ブラジル小野田牧場開拓  
1984.4 ……小野田自然塾開設

現在キャンプ指導と全国の小中高校を訪問し講演活動を行っています。

### <プログラム>

主催者挨拶等

- 1 NPO法人長崎被害者支援センター  
理事長 塩飽 志郎
- 2 「犯罪被害者を取り巻く支援状況と被害者支援センターの動状況」について  
長崎県警察犯罪被害者支援室川原補佐
- 3 小野田氏プロフィールDVD上映
- 4 小野田 寛郎 特別講演



### <講演内容>

小野田寛郎講師は陸軍少尉として、昭和19年にフィリピン・ルバング島へ派遣され、終戦を知らされないまま、昭和49年に日本へ帰還するまでの30年間、同島の密林に潜伏し、最後の一人まで戦い続けた中で「人は一人では生きられない」ということを身にしみて感じた経験を次のように語った。

- ・過酷なジャングルで部下とともに原始的な潜伏生活を過ごす中で、人間がたった一人で生き抜く辛さ、怖さ、人間は一人では社会から離れては生きていけないことや、友達と一緒にいる喜び、生きるという意思の大切さを感じた。
- ・人間は自然の恩恵を受け、自然と共存しており自然の一部である。必要なものは全て自分で作るしかなかったことから、衣服や帽子を作るための糸や針も自然の中にあるもので代用し、創意工夫が必要と感じた。
- ・自分のことは自分で守り、自分がされて嫌なことは他人にもしてはならないし、他人を顧みる優しい気持ちを持つことが大切であると同時に、人は強くならなければ生き残れない、ぶら下がってばかりで生きる人生は生きる意味がない。  
自分の本質を見出し目標をもって逞しく生きて欲しい。
- ・最後に、人は一人では生きられないので、親兄弟、家庭の絆、近隣との絆を大事にし、ルールを守り自分の行動には責任をもって生き抜いてほしい。このことが今の社会に欠けている。

### <来場者の声>

今の自分の生活を見直し、もっと周りのことも考えなければならぬと感じた。

隣人を含め、地域的なつながりを強める必要があると感じた。

家庭内ではもっと会話をしなければならぬと反省した。



### <反響>

当日は、会場450席に対し600名が聴講し急ぎよ大学側からイス等を借り入れて会場内に設置したがそれでも立ち見が出るほどでした。中には祖父に聞かせたいと遠く平戸から来られた方もいました。

「生きぬく」ことの難しさと、「命をたもつ」ことの大切さを考えさせられた。

## 第10期生 被害者支援員（ボランティア）養成講座のご案内

目的	犯罪被害者等を支援するボランティアとして活動できる人材を育成します。		
期間	平成23年6月～11月（月2回 第2・第4土曜日午後開催）		
場所	長崎被害者支援センター研修室（長崎県交通産業ビル4階（長崎駅前））		
応募資格	年齢20歳以上の心身共に健康な方で、講座終了後に電話相談等にボランティアとして月1回以上平日3時間程度従事、また広報活動等へ参加可能な方		
応募方法	履歴書（写真は顔が分かるスナップ写真可）と課題「志望動機及び支援について」（作文800字程度）を郵送してください。 郵送先：〒850-0057 長崎市大黒町3番1号 長崎被害者支援センター		
応募期間	平成23年4月1日～4月30日まで	受講料	無料
その他	書類審査を経て面接を行います。（面接日程等は後日連絡）		
備考	詳細は事務局またはセンターホームページでご確認ください。 TEL 095-820-4978		

### 養成講座を終えて

#### 第9期生 Nさん

「無事に暮らす」この事に改めて感謝しつつ家族の日々を見つめ、受講前とは違う意識で社会を見つめる事が出来るようになりました。しかし苦しくもありました。知れば知る程、被害者や家族、遺族の方々の苦しみが分かり胸が締めつけられたからです。

又、その消えることのない心の痛みを抱えながらも、被害者の権利を守る為、様々な形で行動されてきた方々の事も知り、さらに頭が下がる思いがしました。

けれども、悲しい事に世間の無理解は続きます。2004年、大学生の集団レイプ事件が起きた際に当時の官房長官が、記者に語った記事が出ました。

「女性にも『いかにしてくれ』っているじゃない、挑発的な格好して。世の中男が半分って知らないのかな。ボクだって誘惑されちゃうよ・・・」

その後、「レイプ犯擁護か」と非難を浴びました。この件に関し有名な精神科医が最近出した本の中でこう書いていました。

「あれは、大人の話す内容としては常識で、私は娘にも同じように教える・・・」子供に教えることは、私も大切だと思います。しかしその後にも容認できない文が続きます。

「ある時期から、日本では被害者が神様のような特別な扱いを受けるようになった。例えば被害者にも落ち度があった、と言ったらすぐに名誉毀損で訴えられたりするからだ。そして殺人事件の8～9割は顔見知りの犯行で怨恨によるものが多いのだから、恨まれずにすむような何らかの予防策が取れたのではないか・・・」

私は凍りつきました。こんな簡単な事でしょうか。一方的な思いこみによるストーカー殺人など予防出来ない事件もあるというのに。もしも、家族が突然に理不尽な死に方をしたら、という想像をした事があるのでしょうか。

あらゆる犯罪の被害者や家族・遺族の方々は、いくら時間が経っても消えない痛みを抱え、それでも生きていかなければならない、その苦しさを想像した事があるのでしょうか。

こうした想像力の欠如が、あらゆる問題の始まりのような気がしてなりません。無理解による二次的被害、何度世間に傷つけられるのでしょうか。

私達は、普通に生活していても自分の思いが伝えられず、言葉の難しさを感じる事がよくあります。ましてや、犯罪にあった時にその気持ちをどう表現できるのか、言葉にするのも辛い作業だと思います。

私はその言葉に出来ない部分を精一杯想像して、心を込めて耳を傾けたい、今はこの思いで一杯です。そして研修で学んだように、個々の要求を的確に把握してあげられたらと思います。言葉の重みを意識すると、今、電話をとるのが怖くてたまりませんが、事務局の方々の指導を受けながら、一生懸命させていただきたいと思っています。

### 支援員として、初めの一步

#### 第9期生 Jさん

毎日、事件や事故のニュースが、洪水のように流れては消えていく。日常と非日常の境界線の狭間で私たちは生きている。非日常の出来事は、メディアの中で起こっている事であって、自分自身の世界には全く無関係だと誰もが思って生きている。私もその中の一人でした。

ある日、ニュースを見ていると、テレビの中では、現場に中継が入り、事件の概要を話すアナウンサーの後ろで笑顔でピースサインをする人たちを、怪訝そうな表情で見つめる自分が鏡に映っているのに気が付きました。

自分の表情を鏡越しに見つけた時、ハッと我に返りました。「私もこの群集の中の一人なのではないか」と。その瞬間、悲しみを感じたとしても、画面が切り替わると、私自身もその感情は切り取ってしまっていると感じた時、とても恥ずかしかった。そして、「私も出来る事はないか」という強い気持ちが生れました。

ちょうどその頃、偶然「被害者支援員ボランティア」の記事を見つけ、その時、心の奥で何かが大きく動き出しました。小さくても、大きな第一歩でした。

いざ、支援員になる為の講習が始まると、被害者の方々が置かれている現状に心が痛みました。今まで、一度も行ったことがなかった裁判傍聴に足を運んだり、各専門の先生方の話を聞いたり、今までの自分の人生が、無意味に感じるぐらいに、私は、世の中を知らなさ過ぎたと思いました。講習を重ね専門的な勉強をしていくうちに、自分にできるだろうかと弱気になる反面、一緒に講習を受けている仲間や先輩達と共に、このような支援活動をより多くの方に知っていただきたいと強く思うようになりました。

今まで、犯罪被害者の方々は、色々な部分で、置き去りにされていました。それが、ここ数年、被害者の権利擁護やその立場に関心が持たれ、法の整備も整いつつあります。しかし、いまだ半ばではないでしょうか。

その為にも、私たち支援員の成すべき事は山ほどあると思います。思いもよらない環境の中の被害者の方に、耳を傾け、目を離さず両手を広げ、そして寄り添ってあせらずゆっくりと歩き出せるように、一緒に前を見つめていきたいと思っています。

また、被害者の方だけではなく、自分は、無関係だと思っている多くの方へ犯罪から自分の心と命を守り、自分自身を大切にしてほしいと願い、私も、初めの一步を力強く歩き出します。

編集・発行

〒850-0057 長崎市大黒町3番1号

特定非営利活動法人 長崎被害者支援センター

TEL/095-820-4978 FAX/095-820-4377